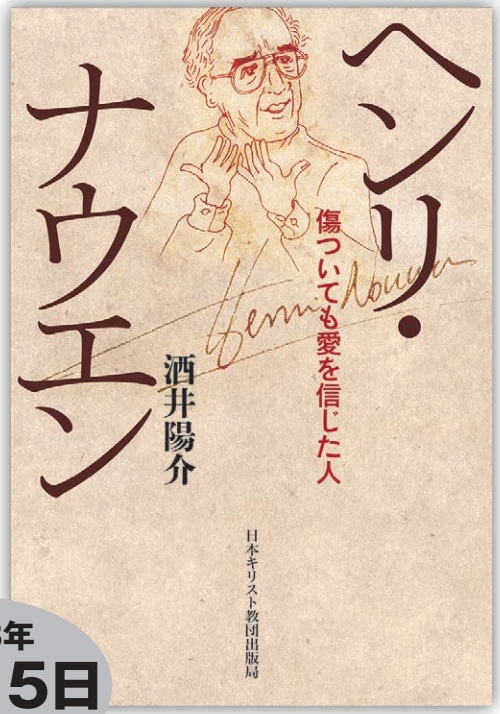
ヘンリ・ナウエン　傷ついても愛を信じた人

酒井陽介（さかいようすけ）**著**

イエズス会司祭。1971年、横浜に生まれる。2001年、司祭叙階。2018年、教皇庁立グレゴリアン大学心理学科博士課程修了（心理学博士）。2020年、教皇庁立グレゴリアン大学心理学科講師。2022年、上智大学神学部・上智大学大学院実践宗教学研究科准教授。ヘンリ・ナウエン『今日のパン、明日の糧　暮らしにいのちを吹きこむ366のことば』『傷ついた癒やし人　新版』（共に日本キリスト教団出版局）の解説を執筆。



20世紀を代表する霊的指導者ヘンリ・ナウエン。現代世界で傷だらけになって神を求め続けた、その生涯と信仰を、ナウエン研究の第一人者がわかりやすく描く。ナウエンファンにも、これから読む人にも必読の書。神の愛が見えにくく、魂の飢え渇く今こそ、ナウエンに聴こう！

四六判・並製・168頁・定価1,980円（本体1,800円＋税）

ISBN978-4-8184-1152-4　C0016

2023年12月15日 刊行予定

目次

序章　ヘンリ・ナウエンの霊性と現代
なぜ、ヘンリ・ナウエンなのか／ヘンリ・ナウエンの魅力
第一章　霊性の変遷
二十世紀の霊性／母国オランダの教会の状況――ナウエンを育んだ社会的・宗教的土壌／大戦後の北アメリカにおける霊性の変遷／キリスト教霊性とは
第二章　ナウエンの人生の素描と作品に見る霊的変遷
幼少・青年時代（1932-51年）／大神学校・新司祭時代、そして心理学の学び（1951-64年）／アメリカにおける心理学の研鑽（1964-66年）／ノートルダム大学、そして再び本国オランダで（1966-70年）／イェール神学大学院にて（19971-81年）／ラテンアメリカにて（1981-82年）／ハーバード神学大学院にて（1982-86年）／ラルシュに「家」を見つける（1986-90年）／再びデイブレイク共同体にて（1990-96年）
第三章　ナウエンの霊性の特徴
その霊性の特徴／孤独との付き合い　LonelinessからSolitudeへ／愛されていることの自覚――無力感からの出発／友情の証し――友のためにいのちを捨てる愛への葛藤
第四章　ナウエンの霊性の神学的・人間学的考察
満たされないことへの葛藤／未完の欲求を生き抜く／イエスの選択――未完の欲求の実り／ナウエンとキリスト／キリストの復活の証し人
第五章　傷ついた癒やし人――ヘンリ・ナウエン
傷ついた癒やし人／ナウエンとセクシュアリティ／ナウエンのパラドックス／ナウエンと霊的同伴
終章　ナウエンから現代日本に生きる私たちへ

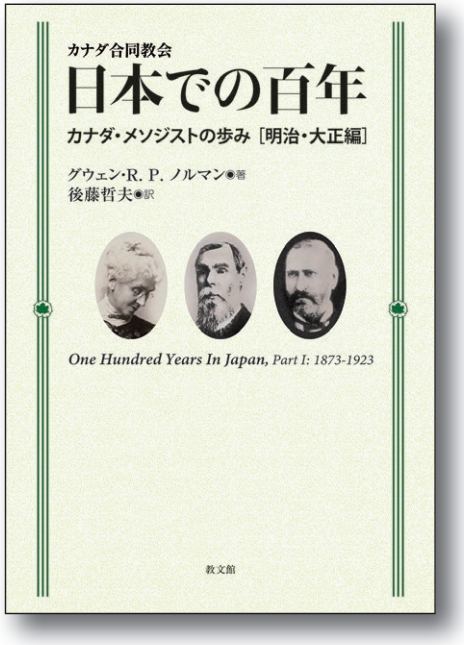
教文館　新刊案内　　12月13日発売予定

カナダ合同教会 日本での百年

カナダ・メソジストの歩み　[明治・大正編]

One Hundred Years In Japan, Part I: 1873-1923

グウェン・R. P. ノルマン 著　**後藤哲夫** 訳



日本キリスト教伝道史・教育史の一断面

1873（明治6）年のD. マクドナルドとG. カックランの来日に始まる、カナダ・メソジスト（現カナダ合同教会）による日本宣教の記録。主に中部地方の各地に教会を設立したほか、教育活動（東洋英和・静岡英和・山梨英和の創立や関西学院の運営）と社会事業（児童福祉・矯風運動など）に尽力したミッションの、困難に満ちた揺籃期における実り多い働きを綴った貴重な通史。

《著者紹介》**グウェン・R. P. ノルマン**（Gwen Rhianon Prys Norman）… 1909年ロンドン生まれ。カナダのマギル大学大学院修了。32年宣教師ハワード・ノルマンと結婚し来日。40年の離日まで富山、金沢などで働く。戦後再来日し、54年関西学院大学文学部助教授就任。山梨英和学院理事、カナディアン・アカデミー（神戸）理事などを歴任。63年塩尻アイオナ教会を夫妻で創立。71年帰国、カナダ合同教会史料センターで海外宣教史料の整理に従事。2003年逝去。
《訳者紹介》**後藤哲夫**（ごとう・てつお）… 元山梨英和学院中学・高等学校英語科教諭。訳書に『カール・バルト著作集7　政治・社会問題論文集 下』（共訳、新教出版社）、K. -H. シェル『賀川豊彦』（教文館）ほか。

A5判・並製・500頁・定価4,950円（本体4,500円+税）・ISBN 978-4-7642-9204-8　C3016

慰めとしての教会に生きる

加藤常昭✣著

長く日本の実践神学を牽引してきた著者の渾身の講演・論文集

「説教」「礼拝」「魂への配慮」「伝道」「教会形成」など、実践神学のさまざまな主題をめぐる講演と論文を収録。

「『ハイデルベルク信仰問答』は、ただひとつの慰めとしての主イエス・キリストと、そのみわざを語り、その慰めに生きる共同体としての教会の姿勢を明示しました。トゥルンアイゼンが現代において、それを語り直してくれました。慰めを語り、生きる共同体としての教会を、どのように、地上に形造り、そこに生きるか、それは牧師が信徒とともに果たす、神からいただいた課題です。本書でさまざまな具体的課題が語られているのですが、そこに一貫しているのは、そのことです。キリストの慰めを語り、そこに生きる共同体の形成です。そこで、本書の書名も生まれたのです」(「はじめに」より)。

✣著者紹介　加藤常昭（かとう・つねあき）　1929 年、ハルビンに生まれる。東京大学文学部哲学科卒業、東京神学大学大学院修士課程修了。1986 年まで東京神学大学教授（実践神学）。1986/87 年、ハイデルベルク大学客員教授。1995/97 年、国際説教学会会長。1997年まで日本基督教団鎌倉雪ノ下教会牧師。現在、説教塾主宰、日本基督教団隠退教師。著書　『加藤常昭信仰講話』（全7巻）、『加藤常昭説教全集』（全 37 巻）、『愛の手紙・説教』、『出来事の言葉・説教』、『説教批判・説教分析』 など多数。訳書　R. ボーレン 『神が美しくなられるために』 Chr. メラー 『慰めの共同体・教会』、『説教黙想集成』（全 3 巻）など多数。

A5判・並製・334頁・定価4,290円（本体3,900円+税）　ISBN978-4-7642-7478-5　C3016

教文館　新刊案内　　12月20日発売予定

愛に祈る人

無教会キリスト教伝道者　寶田愛子の生涯

矢田部千佳子 著

神のみを見つめ、走り抜いた信仰の道

明治から昭和の激動の時代、内村鑑三らに学びつつキリスト教伝道に命をささげた、山本書店創業者・山本七平の岳母でもある寶田（ほうだ）愛子。あらゆる艱難に襲われながらも、ひたすら神への愛と祈りをもって戦い続けたその姿を鮮やかに描き出す。日本のキリスト教における女性史の一断面を示した珠玉の評伝！

著者紹介　**矢田部千佳子**（やたべ・ちかこ）　無教会キリスト教女性史研究者。AP通信社退職後、ルーテル学院大学を経て、立教大学大学院キリスト教学研究科博士課程に在籍中。発表論文に「『非戦主義者の戦死』精読と内村鑑三の『犠牲の精神』」（『内村鑑三研究』51号）、「浅田竹事件試論」（『内村鑑三研究』56号）など。

四六判・並製・120頁・定価1,100円（本体1,000円＋税）・ISBN 978-4-7642-9205-5　C0023

キリスト教年鑑 2023-2024

キリスト教年鑑編集委員会　編著

日本で唯一のキリスト教総合年鑑

1948 年の創刊以来、
通巻 66 巻の継続性と新しい時代に対応した編集に努めています。

掲載内容

◎2022 年 10 月～ 2023 年 9 月のキリスト教界活動記録
◎教会＝教団教派各教会、単立教会、伝道所など
◎各種団体
◎学園＝大学（院）・短大・高校・中学校・小学校、神学校、専修学校・各種学校
◎ガイド＝社会福祉施設、高齢者福祉施設、病院、出版社、書店、集会・宿泊施設
◎国内人名
◎教勢、世界宗教分布図、キリスト教功労者
◎総索引
◎広告

※「国内人名」は、一部を除き原則として 2022 ～ 2023 年版の内容を踏襲しています。

B5判・上製・1186頁・定価18,700円（本体17,000円＋税）　ISBN 978-4-87395-829-3 C0502 ¥17000E（日キ販）

紫園 香　菅野万利子［著］　すいせんの言葉：キリストの平和教会牧師 岩本遠億氏

ヒャッホウ！　闇夜にまたたく星　それは道しるべ
おばあさんだって冒険したい！

12 月 15 日刊行予定

四六判・80 頁口絵 1 丁・定価 1,100 円
本体 1,000 円＋税　ISBN978-4-909871-99-2 C0016

闇に瞬く星のように、天の輝きを放つアンサンブル！

日本を代表するフルーティストとして国際的活躍を続ける紫園香と、
クリスチャンピアニストとして国内外で評価されている菅野万利子。
豊かなキャリアをささげ尽くすため「Duo Stella」を結成！

プロフィール；

紫園香　Kaori Sion：フルート

日本を代表するフルート奏者として長年国際的に活躍。音楽伝道師としても世界 2000 ヶ所以上で用いられている。東京藝術大学音楽学部、同大学院首席卒業。藝術学修士。スイスにて巨匠 M. モイーズに師事、マスターコース修了。NHK 洋楽オーディション入選、以来 NHKFM・TV、スイス放送をはじめ世界中の TV、ラジオ出演多数。第 7 回「万里の長城杯」国際コンクールをはじめ入賞多数。外務省招聘「文化交流使節団」等により世界 24 ヶ国でリサイタル開催。ジュネーヴ国際芸術祭、ブラジル移民 110 周年記念リサイタルをはじめ国際音楽祭招聘多数。天皇に招聘され皇居にて御前演奏。国内でも東京文化会館を始め主要ホールでの数多くの演奏は、「音楽の友」誌で年間コンサートベスト 1 位を獲得、CD が日本時事通信特選 CD に選出、またレコード芸術誌、音楽現代誌の特選 CD に推奨、など常に高い評価を得ている。著書・曲集・CD16 枚を発売中。現在、日本クラシックコンクール審査員、MFLC、ユーオーディア・アカデミー各講師。ケニア・コイノニア教育センター特別講師。NGO ハンガーゼロ親善大使。日本クリスチャン音楽大学および同大学院教授。

菅野万利子　Mariko Kanno：ピアノ

京都に生まれる。相愛大学音楽学部卒業。井口基成、井口愛子、片岡みどりに師事し、在学中より第 45 回日本音楽コンクール入選、文化放送音楽賞受賞、NHK 洋楽オーディション入選し、演奏活動を始める。アメリカ・インディアナ大学音楽学部アーティストディプロマコースにて G. シェボック氏に師事。フランス、ハンガリー、スウェーデンにて J.C. ペンティエ氏、B. ザイドルホーファー氏の元で研鑽を積む。帰国後、相愛大学講師、関西のコンクール審査を多数務める。リサイタル、室内楽、現代曲初演などの演奏が評価され、大阪文化祭賞、大阪市咲くやこの花賞を受賞。協奏曲では外山雄三氏、尾高忠明氏、金洪才氏等の指揮にて主要オーケストラとの協演多数。1988 年より東京都在住。金希文氏指揮ユーオーディア管弦楽団、台湾の音契管弦楽団と協演。古典から現代まで幅広いレパートリーをもち、日本全国および海外にて多彩なコンサートを展開している。三浦綾子読書会会員。CD”Rejoice” を教文館よりリリース。ユーオーディア・アカデミー講師。

株式会社ヨベル　YOBEL Inc.　〒 113-0033　東京都文京区本郷 4 - 1 - 1　T 03-3818-4851　F 03-3818-4858　info@yobel.co.jp　https://yobel.co.jp

非暴力・抵抗の生き方がめざす“罪”からの解放

良き知らせをあなたに

聖書が語る「福音」とは何か

南野浩則 著

弱者が虐げられる暴力的世界に
正義と平和を実現する神の意志

正義は平等なのか？　敵対する者との和解はありうるのか？人々を抑圧から解放する「救い」の物語である聖書の深みに迫る。非暴力・抵抗というイエスの生き方がつくり出す「良き知らせ＝福音」とは何か。気鋭の聖書学者が解き明かす神の正義と平和。

四六判 112頁 定価1,540円（本体1,400円＋税）
ISBN978-4-264-04471-0 C0016
いのちのことば社　卸コード 02960

南野浩則（みなみの・ひろのり）
日本メノナイトブレザレン教団石橋キリスト教会副牧師、福音聖書神学校教務。神学校ではおもに旧約聖書を教えている。メノナイト派は福音を「平和」の視点から理解し、聖書に記された平和を語り、その実現を追究している。